

# 桐生西ロータリークラブ週報



2011-12年度RITテーマ

カルヤン・パネルジー RI会長 こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日時 毎週金曜日 12:30～13:30  
 例会場・事務所 桐生市堤町3-5-23 桐生プリオパレス  
 TEL 0277-22-9155 ・ FAX 0277-44-2777  
 Eメール kiryu-nishi@rid2840.jp URL http://www.rid2840.jp/kiryu-nishi  
 会長 江原 利夫 広報活動委員長 阿左美 博 広報活動委員 井本 上穂・武井 善作  
 幹事 天沼 一夫 クラブ発刊担当 森村 年勇 羽島 隆 (印刷担当 IT-CLUB担当)

No. 1823

2011年9月30日発行

## 第1937例会 (2011・9・16) 報告

- |             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 1. 点 鐘      | 6. 食 事                  |
| 2. ロータリーソング | 7. 委員会報告                |
| 3. 来訪者紹介    | 8. 卓 話 大間々高校 校長先生 宮崎正法様 |
| 4. 会長報告     | 9. 点 鐘                  |
| 5. 幹事報告     |                         |

### ◆ビジター

群馬県立大間々高等学校 校長先生 宮崎正法様

### ◆会長報告

江原会長

- 本日午後1時から、高津戸荘敬老の日の行事が開催され、私 会長始め当クラブの4名が招待されましたが、例会日と重なってしまった為、横塚直人社会奉仕担当に代表して出席して頂くことになりました。その為、横塚会員は例会におみえになっておりません。
- 地区より、昨年度、皆様から集めました東日本大震災の義援金の報告が参りました。内容としましては、ガバナー会が寄付を呼び掛けた本来の趣旨と、実際の義援金の使途が異なる為、当地区は、送金した額の凡そ90%を返金してもらい、被災地区へ速やかに分配して贈る事にしようです。
- 明日17日(土)、ホテルメトロポリタン高崎において、米山奨学記念セミナーが開催されます。会長幹事と米山奨学担当の奥村会員の3名で出席して参ります。
- 明後日18日(日)は、高崎シティギャラリーコアホールで、午前と午後に分かれて新会員セミナーと五大奉仕セミナーが開催されます。  
 家住ガバナー補佐と星野クラブ研修リーダーは両方のセミナーに出席されます。他に新会員セミナーには、福島賢一会員と小野満徳彦会員が、五大奉仕セミナーには、私と東郷会長エレクト、下井田奉仕プロジェクト委員長が出席します。
- 19日の敬老の日、当年度の第1回ゴルフコンペが桐生カントリークラブで開催されます。小林ゴルフ部長を始め参加される皆様、宜しくお願い致します。

### ◆幹事報告

天沼幹事

- ◇次週9月23日(金)は秋分の日でお休みです。
- ◇再来週の9月30日(金)は家住ガバナー補佐公式訪問です。
- ◇9月9日(金)の桐生タイムス紙と上毛新聞に大間々高校模擬面接の記事が掲載されました。(各テーブルに配布)
- ◇ハイライトよねやま138が配信されました。( )
- ◇「ロータリー観光・買物案内」の小冊子掲載の提出期限が本日です。飲食店や小売業等の会員はお申込下さい。
- ◇桐生5RC合同夜間例会と合同チャリティゴルフコンペ(江原年度第2回ゴルフコンペと同時開催)のお申込をお早めをお願い致します。

◇下記のものが届いております。

- ・2011-12年度国際ロータリー公式名簿CD
- ・伊勢崎南RCよりクラブ現況報告書
- ・テレビ大阪特別番組「感染症ポリオ残り1%の闘い」のDVD

◇例会変更のお知らせ

- 桐生南RC 9/14,9/21 安中RC 9/29(休)、10/13,10/20,11/3(休)
- ◇クラブ会報が到着しています
- 桐生RC 9/12 桐生南RC 9/7 桐生中央RC 9/8
- 桐生赤城RC 9/6 足利RC 7/22・29,8/12,8/26

### ◆食事メニュー

1388キロカロリー

白身魚と枝豆の揚げ物、牛肉のピリ辛煮、香の物、ツナと大根の和え物、白飯、コーヒゼリー

### ◆委員会報告

#### □クラブ運営委員会

#### ◇出席報告

前原クラブ運営委員長

総数47名(免除者10名の内4名出席の為6名を除く)  
 出席率対象者41名、出席率対象者出席人数36名  
 欠席者5名(内前メイク3名) 出席率95.12%  
 前々例会修正出席率93.02% (最終欠席者3名)

#### □拠金委員会

#### ◇ニコニコBOX

阿左美拠金委員

大間々高校 宮崎校長先生、卓話ありがとうございます  
 江原君、天沼君、花房君、霜村君、中野君、  
 根本君、星野君、田崎君、向田君、  
 乾君、小野満君、阿左美君、福島君

#### ◇ロータリー財団

松尾ニコニコBOX担当

大間々高校 宮崎校長先生を卓話にお迎えして  
 家住君、霜村君、小野満君、天沼君、  
 田崎君、星野君、正田君  
 暑さ寒さも彼岸まで 江原君  
 星野幸男さんしばらく振りです 阿左美君

#### ◇米山BOX

近藤R財団担当

大間々高校 宮崎校長先生、卓話ありがとうございます  
 星野君、天沼君、霜村君、中野君、栗原君、  
 田崎君、小野満君、阿左美君、福島君

### 《次例会予告》

10月7日(金) 会員卓話

10月の出席100%表彰、誕生・結婚祝い

## 卓 話



群馬県立大間々高等学校  
校長先生  
宮崎 正法 様

「地域に根ざした  
学校を目指して」  
～大間々高校の未来を考える～

日頃より、桐生西R Cの皆様にはお世話になっており、改めましてお礼を申し上げます。本日は、最近の学校の様子などをお話して、ご理解を頂いた上で、今後も大間々高校にご支援願いとっております。

この度の東日本大震災は、直接の被害が無かった我々にも、計り知れない影響がありました。大災害から学ぶ事も多くあり、日本の良さ・日本民族の素晴らしさを改めて感じる事が出来ました。本当に苦しいときでも人を思いやり、困難に遭っても不満を言わずじっと耐える忍耐力、苦しい時こそ助け合う協調の心、混乱の中でも保たれる秩序、この様な事を、教育者として若い人達にきちんと教えていかなければいけないと思いました。それと同時に震災時に学校が果たす役割についても考えさせられました。避難所として多く使われたのは学校でした。それは、学校が人や物・情報が多く集まる場所であり、比較的安全な場所であるからです。コミュニティの中心としての役割を果たさなければいけない事を、強く認識致しました。

その様な事を前置きに、大間々高校が地域の中で、どういう役割を果たしたら良いかをお話し致します。

まず、大間々高校はどのような学校であるかをお話させていただきます。大間々高校は創立111年になります。県下で10本の指に入る歴史と伝統がある学校です。

特に大きな変革として、平成10年、群馬県では初めての普通科の単位制高校となりました。単位制高校とは大雑把に申し上げますと、選択科目が沢山ある学校と捉えて頂ければ良いと思います。1年生は殆どの時間割がクラス単位の授業ですが、学年が上がるにつれ選択科目が増え、3年生になると殆どの授業が選択科目になります。大学の様に、先生が居る教室へ生徒が移動します。今1学年3クラスで総生徒数390名です。2学年だけ4クラスになっています。それは、群馬県では高校2年生と中学3年生の2学年だけ人数が多く、同数の募集では、高校に入れない生徒が出てしまうので、この学年だけ人数を増やしているからです。男女共学ですが、男子1に対して女子が2くらいになっています。特に1年生は男子が39名しかおりません。在籍している割合は、みどり市が34%、桐生市が43%、前橋市13%、太田市・伊勢崎市が各5%で、この5市で100%になります。

本校の特色として、先ほどご説明致しました「豊富な選択科目」、そして「少人数学習」、「資格取得や進路選択に向けた多様な授業」の3つが挙げられます。選択科目は1つのコマに6～8つ用意してありますので、3クラスが6～8クラスに分かれることになり、1クラス10名程度の授業となります。ですから途中でついて行けなくなったり、興味や集中力を無くす事無く、みんな目を輝かせて勉強に励んでおります。また本校は普通科ですが、専門教科に関わる授業が沢山受けら

れます。商業科目・家庭科関係・福祉関係などあり、更に看護や保育の専門家を目指す場合は、そういった科目を集中して受ける事もできます。高校入学時に将来の事を決められなくても、2年生からの進路変更が可能となり、生徒は多様な進路を目指すメリットがあります。そして生徒数に対して教師の数も多いので、きめ細かな指導ができます。

また、部活動は、社会人になる為に必要な切磋琢磨・協調性・頑張り等が身に付く大きな力になりますので、「部活動の活性化」に努めています。そのお陰で運動部・文化部とも、色々な部が優秀な成績を修めています。

そして、大間々高校は唯一みどり市にある県立高校です。「地域に根ざした教育」を目指しております。インターアクトを中心としてボランティア活動に励んで、豊かな心を育てております。PTAと連携した地域の活動への参加や、同窓会にも協力して頂いて通学路清掃なども行っています。地域への奉仕を行う事で地域との絆を強めていきたいと思っております。

私はこの春から大間々高校の校長となって半年経ちますが、これからの大間々高校をどの様にして行ったら良いか日々考えております。先ず、地域に貢献出来る学校にしなければいけないと考え、その為には地域で求められる人材の育成と、魅力ある地域づくりへの参画に努めていきたいと思っております。いま地域学習にも力を入れており、地域の良さを知ってもらう為、歴史や文化を学ぶ授業を行っています。

更に、「地域に開かれた学校づくり」という事で、大間々高校を地域の皆様に知っていただく必要があると思ひ、ホームページや広報誌を作って情報発信を行っています。また「学校の人的教育財産の活用」として、美術の先生が街の人を集めて切り絵教室など行ったりしています。他にも要請があれば是非協力したいと思っております。一例を挙げますと、商店街を活性化する為、商店のポスターやメニューを、コンピューターを使って生徒が作成すれば、勉強した事が街の人達に活かされます。更に、「学校施設の地域開放」という事で、校庭や体育館など学校が持っている教育財産を、地域の人達に積極的に使って頂きたいと思っております。

「地域の子供達は地域で育てる」ために、地域で多く活躍出来る子供を、学校と地域が連携して行っていきたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

## 地区内の各セミナー開催される



9月17日(土)米山奨学セミナーがホテルメトロポリタン高崎で、翌18日(日)には新会員セミナーと五大奉仕セミナーが高崎シティギャラリーコアホールで開催されました。

米山セミナーには江原会長・天沼幹事・奥村米山奨学担当の3名が、新会員セミナーと五大奉仕セミナーには家住ガバナー補佐と星野クラブ研修リーダーが、福島会員と小野満会員は新会員セミナーに、江原会長と東郷会長エレクト、下井田奉仕プロジェクト委員長は五大奉仕セミナーに出席致しました。